

ウォークアブル<sup>すいしんけいかく</sup>推進計画

佐賀市<sup>さがし</sup>佐賀駅<sup>さがえき</sup>周辺<sup>しゅうへん</sup>北<sup>きた</sup>地区

佐賀<sup>さが</sup>県<sup>けん</sup>

令和5年3月

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【佐賀駅前広場の機能再編】 佐賀駅の駅前広場は、神野土地区画整理事業と同時に実施された佐賀駅高架化事業により昭和51年に整備されたものである。現状は、広場面積の大部分が交通広場となっており、県都の玄関口として、来訪者に街を最初に印象付ける「まちの顔」としての機能や、来訪者や駅利用者が憩い交流するための空間を有していない。このため、交通広場機能を再編し、おもてなし・交流のための機能を有する駅前空間への再整備を行う。 今回の再整備により、交通結節点である佐賀駅を中心として、南は中心市街地・佐賀城跡(県史跡)がある「歴史・文化・芸術拠点」、北は「スポーツ・文化拠点」とを有機的につなぐ南北軸の形成を図り、駅から各拠点方面への人の流れを生み出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐賀駅の駅前広場(南口・北口)を、人が集い・佇み・交流できる、街の玄関口としての駅前広場に再整備する。</li> <li>・駅前広場内の交通広場について、錯綜して混雑しているタクシー・一般車がスムーズに利用できる空間へと再編する。</li> <li>・駅前広場内の自動車整理場の配置を見直した上で再整備し、利用者の安全性確保とバリアフリー化を図る。</li> <li>・駅周辺道路について、歩きやすい環境整備のため道路のバリアフリー化及び高質化を図る。</li> <li>・佐賀駅周辺に自転車駐車を整備し、来訪者の利便性の向上を図る。</li> </ul>	<p>【基幹事業】 高質空間形成施設 佐賀駅下古賀線道路空間高質化事業：県</p> <p>【関連事業】 佐賀駅北口駅前広場整備事業：市 佐賀駅南口駅前広場整備事業：市 佐賀駅北口自動車整理場整備事業：市 佐賀駅南口自動車整理場整備事業：市 佐賀駅周辺自転車駐車場整備事業：市 市道駅前中央3号線道路整備事業：市 市道駅前中央4号線道路整備事業：市</p>
<p>【佐賀駅周辺と「スポーツ・文化拠点」であるSAGAサンライズパークエリアとの連携強化】 佐賀駅北口から「スポーツ・文化拠点」まで約1.4km。「スポーツ・文化拠点」には、県総合運動場、県総合体育館、市文化会館があり、スポーツ大会やコンサート等の参加者・来場者など、佐賀駅と会場とを結ぶ市道三溝線を歩いて移動する人も多い。 県総合運動場は、2024年に開催される佐賀国スポ等のメイン会場であり、開会式や、陸上・水泳など多くの競技が開催される。また佐賀県は、この拠点内に新たに8,000人規模のアリーナを新設する計画を進めており、佐賀駅から拠点までの動線確保がさらに重要性を増している。 多くの来訪者を円滑かつ安全に徒歩で移動させるため、距離を感じさせずに楽しみながら歩くことのできる道路空間の整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道三溝線(幅員20m、車線数4)の歩道(両側：各3.5m)は、現在は自転車歩行者道となっている。安全に歩けるよう自転車走行空間と歩行空間を分離整備する。</li> <li>・市道三溝線に接続する佐賀駅北口の駅前広場は、車の出入口が異なる変則交差点となっている。広場内の動線再編により出入口を統一し、現在の複雑な信号現示を是正することにより、市道三溝線との連携を強化する。</li> <li>・地理に不案内な方を「スポーツ・文化拠点」まで誘導するとともに、市やイベント等に関する情報を発信する誘導・情報案内板を整備する。</li> <li>・市道三溝線を距離感を感じさせずに快適に歩いてもらうため、沿道にベンチなどを配置した休憩施設を整備する。</li> <li>・市道三溝線を楽しみながら快適に歩いてもらうため、歩道空間にストリートファニチャーなどを整備する。</li> </ul>	<p>【関連事業】 佐賀駅北口駅前広場整備事業(再掲)：市 佐賀駅南口駅前広場整備事業(再掲)：市 誘導・情報案内板整備事業：市 市道三溝線沿道空間整備事業：市 市道三溝線歩道空間高質化事業：市 市道三溝線コミュニティ施設整備事業：市 SAGAサンライズパーク整備事業：県 市道三溝線整備事業：市</p>
<p>【「スポーツ・文化拠点」であるSAGAサンライズパークエリアの各施設間の連携強化】 県総合運動場、県総合体育館、市文化会館及び新設される県営アリーナは、本市の南北を貫く主要幹線である国道263号(幅員25m、車線数4)の両側に分散して立地しており、各施設を繋ぐ動線は、現在は横断歩道のみとなっている。アリーナ新設に併せて、複合型の大規模イベント等の開催が可能となるよう、各施設間の連携を強化するための基盤を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市文化会館と県営アリーナ等を接続する導線を整備し、各施設間を徒歩で安全・快適に移動できる環境を構築する。</li> </ul>	<p>【関連事業】 拠点間連携基盤整備事業：市 市文化会館西側広場整備事業：市 SAGAサンライズパーク整備事業(再掲)：県</p>
<p>その他</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「佐賀市街なか再生計画(H22策定)」との連携 街なかの核となる地域(4核構想エリア)に公共公益施設を誘致 →定住・交流人口の増加</li> <li>○「佐賀市中央通り再生計画(H26策定)」との連携 老朽化した中高層建築物の更新を促進し、これに合わせたトータルデザインを策定 →建物の更新、街なか景観の向上による佐賀駅と街なかを結ぶ動線確保</li> <li>○「佐賀市歴史的風致維持向上計画(H23認定)」との連携 歴史的資源の活用と徴古館(佐賀藩鍋島家が所蔵する文化財の展示施設)、佐賀城本丸歴史館(本丸御殿を木造復元した幕末期を中心とした展示施設)、大隈重信生家(国史跡)・大隈重信記念館(早稲田創設者であり、総理大臣を2回務めた大隈重信を顕彰する展示施設)等を周遊するルート整備・サイン整備・歴史的建造物の修復等 →賑わいづくり、交流人口の増加</li> <li>○「SAGAサンライズパーク整備事業」との連携 県は、2024国体等のメイン会場である総合運動場の改修と併せて、8,000人規模のアリーナを新設。周辺の交通混雑回避のため、佐賀駅からアリーナまで徒歩による移動を促すための仕掛けづくりを県・市が連携して行う。 →交流人口の増加</li> <li>○市道三溝線整備事業との連携 SAGAサンライズパークと佐賀駅とを結ぶ市道三溝線(4車線)について、社会実験(車線減少)を実施し影響を検証した上で、道路空間の再配分を行い、歩行者・自転車を分離し、安心して快適な歩行空間・自転車走行空間を整備する。 →賑わいづくり、交流人口の増加</li> </ul>	

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	佐賀県	市町村名	さがし 佐賀市	地区名	さがしさがえさきしほうへんたちく 佐賀市佐賀駅周辺北地区	面積	137	ha			
計画期間	令和	5	年度	～	令和	5	年度	～	令和	5	年度

<p><b>目標</b></p> <p>○佐賀駅周辺とスポーツ・文化の拠点であるSAGAサンライズパークエリアとの交流・連携を強化し、賑わいのある街づくりを促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前広場におもてなし機能・交流機能を配置し、市民・来訪者の交流を通じて駅周辺エリアの賑わい創出を目指す。</li> <li>・駅からSAGAサンライズパークエリアまでの動線を強化し、楽しみながら安心して移動できる道路空間整備を目指す。</li> <li>・SAGAサンライズパークエリアの各施設の連携を強化し、交流と賑わいづくりの拠点としての機能向上を目指す。</li> </ul>
<p><b>目標設定の根拠</b></p> <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>【まちづくりの経緯】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和62年度：「シェイプアップマイタウン構想」(中心市街地活性化計画)を策定 →シンボルロード環境整備(S61～H8)、松原川環境整備(S63～H3)、中央第1地区第一種市街地再開発事業(H元～H11)、街路整備事業(H元～H21)等を実施</li> <li>・平成10年度：「佐賀市中心市街地活性化基本計画」を策定 →同年TMOによる「中小小売商業高度化事業構想」(TMO構想)、「中小小売商業高度化事業計画」(TMO計画)を認定。各種の活性化事業を展開</li> <li>・平成16年度：「佐賀市中心市街地活性化基本計画」を再構築 →佐賀駅バスセンター改修(H16)、再開発ビル(エスプラッツ:H15.2閉鎖)の再生(H19)</li> <li>・平成17年度：1市3町1村 新設合併(新「佐賀市」誕生)</li> <li>・平成19年度：南部3町を編入合併</li> <li>・平成20年度：「佐賀市中心市街地活性化基本計画」を時点修正</li> <li>・平成22年度：「中心市街地活性化基本計画」の実践プログラムとして「佐賀市街なか再生計画」を策定 →中心市街地の4核エリアに公共公益施設を誘致(ハローワーク佐賀(H22)・佐賀県国民健康保険会館(H25)・佐賀商ビル(H26)・NHK佐賀放送局(2021年予定))</li> <li>・平成23年度：「佐賀市歴史的風致維持向上計画」国認定(事業期間:H24～H33) →歴史的建造物修復事業、サイン整備事業、水路保全事業、周遊ルート整備等の事業を実施中</li> <li>・平成26年度：「中心市街地活性化基本計画」の実践プログラムとして「佐賀市中央大通り再生計画」を策定 →老朽化した中高層建築物の更新を促進し、これに合わせたトータルデザインを策定</li> <li>・平成28年度：「佐賀市自転車利用環境整備計画」を策定 →自転車利用空間ネットワーク路線を設定</li> <li>・平成28年度：「佐賀駅周辺整備構想」を策定 →佐賀駅周辺の街づくりの展開イメージを提示</li> <li>・平成30年度：「佐賀駅周辺整備基本計画」を策定(予定) →2022年の九州新幹線西九州ルートの暫定開業、2024年の佐賀国体等の開催を見据えて、佐賀駅前広場を含む周辺エリアの再整備計画及び佐賀駅と国体等メイン会場を結ぶ市道三溝線の再整備計画を策定</li> </ul> <p>ソフト事業として、平成21年に特定非営利活動法人「まちづくり機構ユマニテさが」が発足し、官民協働で中心市街地のまちづくりを実施 →「わいわい！！コンテナプロジェクト」、空き家再生事業、コミュニティ再生事業等に取り組んでいる。</p> <p>【現況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成8年から平成12年にかけて中心市街地内の大型商業施設が次々に閉店・撤退(5店舗)</li> <li>・平成10年4月、再開発事業によりオープンした「エスプラッツ」を管理運営していたTMO機関が平成13年7月に破産し、平成15年2月に商業床を閉鎖</li> <li>・郊外型大型ショッピングセンターが相次いで近隣地区に開業。イオンショッピングタウン大和(38,200㎡、H12.9開業)、モラージュ佐賀(37,100㎡、H15.3開業)、ゆめタウン佐賀(58,000㎡、H18.12開業)</li> <li>・中心商店街の歩行者通行量は昭和60年をピークに減少しつづけ、平成12年にわずかに増加が見られたが減少傾向に歯止めがかからず、平成15年度調査では調査期間4日間合計でピーク時の1/3、日曜日については1/4に落ち込んでおり、特に日曜日の落ち込みが顕著</li> <li>・佐賀市の人口(H19～H28)：約2%減、中心市街地の人口：約8%増、佐賀駅周辺地区の人口：約9%増 →駅周辺地区の人口が増加傾向であり、佐賀駅を利用した福岡市への通勤・通学者数の増加もみられるなど、街なか居住が進展している。</li> <li>・通勤等による佐賀駅の乗車人員は増加している。約12,000人(人/日)【JR九州管内での順位:9位】であり、佐賀駅に隣接している「佐賀駅バスセンター」も、1日当たり3,000人以上の利用がある。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐賀駅周辺の人口は増えているが、観光客(宿泊客)などの交流人口は伸び悩んでいる。</li> <li>・佐賀駅の乗降客は多いが、駅から周辺エリアへ向かう人の流れができていない。</li> <li>・佐賀駅と周辺の拠点エリアとを有機的に結び賑わいを生み出す仕掛けづくりが求められている。</li> <li>・人口増加に伴い、子育て世帯など、街なか居住を支える安全・安心な都市基盤の整備が求められている。</li> <li>・SAGAサンライズパーク内に8,000人規模の県営アリーナ新設が計画されており、佐賀駅からのアクセス強化が必要である。新設アリーナまでは約1.4kmの距離であり、イベント開催時に駅から会場まで円滑・安全に徒歩移動してもらうための基盤整備が求められている。</li> </ul> <p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>【第2次佐賀市総合計画(H27～)】 将来像『豊かな自然とこどもの笑顔が輝くまち さが』</p> <p>“賑わいあふれる中心市街地の活性化”に向けて、「中心市街地の既存の社会資本を活かした賑わい創出拠点の整備や多様な公共施設、商業施設等の立地促進など、都市機能のさらなる充実を図ります。また、訪れやすく気軽に街歩きを楽しめる回遊性の高い街づくりを推進するとともに、働く場としての業務機能の充実と街なか居住を推進します。さらに、街づくりに取り組む市民活動団体の育成や街なかの情報発信の充実に取り組みます。」としている。</p> <p>【佐賀市中心市街地活性化基本計画(H20時点修正)】「街づくり基本方針」</p> <p>①まちに住む人・来る人を増やす ②目的をもって街に来る人を増やす ③できる限り長く街を歩いてもらう</p> <p>【第2期佐賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略(R3改訂)】「基本目標・政策の基本的方向」</p> <p>“都市の魅力を高め人を惹きつける”に向けて、「街の顔となる駅前空間の形成」等に取り組むとともに、佐賀県によるSAGAサンライズパーク(アリーナ)を好機と捉え、「コンベンションの誘致」等により、交流人口の拡大をめざす。</p>

**一体型滞在快適性等向上事業及びまちなかウォークアブル推進事業の計画**

滞在快適性等向上区域の考え方

佐賀駅を中心としてスポーツ・文化の拠点であるSAGAサンライズパークエリアと中心市街地エリアとの交流・連携を強化し、賑わいのある街づくりを促進するため、佐賀駅及び市道三溝線、SAGAサンライズパークとその周辺エリアを含めた約50haを滞在快適性等向上区域に設定する。駅前広場の整備や歩道の拡幅、高質化などによりゆとりある歩行者空間を創出するとともに、沿道の地域住民や事業者による歩道と一体となったオープンスペースの活用により、官民一体となって居心地の良いまちなかを創出する。

滞在快適性等向上区域での取組

佐賀駅前広場の再整備、周辺道路の歩道拡幅や高質化等により、佐賀駅を起点として、ゆとりがあり歩きやすい歩行者空間を創出する。  
SAGAサンライズパークへのアクセスルートとなる市道三溝線の沿道にポケットパーク等の休憩施設やストリートファニチャーを整備することにより、楽しみながら快適に歩ける歩行者空間を創出する。

**目標を定量化する指標**

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
佐賀駅の乗車人員数	人／日	JR佐賀駅の1日当たり乗車人員数	駅周辺とスポーツ・文化拠点の連携による賑わい創出効果を表す指標	12,341	H28	12,400	R5
佐賀駅前広場でのイベント数	回／年	佐賀駅前広場でのイベント開催数	駅周辺エリアの賑わいに寄与する交流広場の新設効果を表す指標	0	H29	17	R5
佐賀市文化会館・アリーナの利用者数	人／年	佐賀市文化会館・アリーナの利用者数	スポーツ・文化拠点施設間の連携による賑わい創出効果を表す指標	377,389	H27	588,000	R5



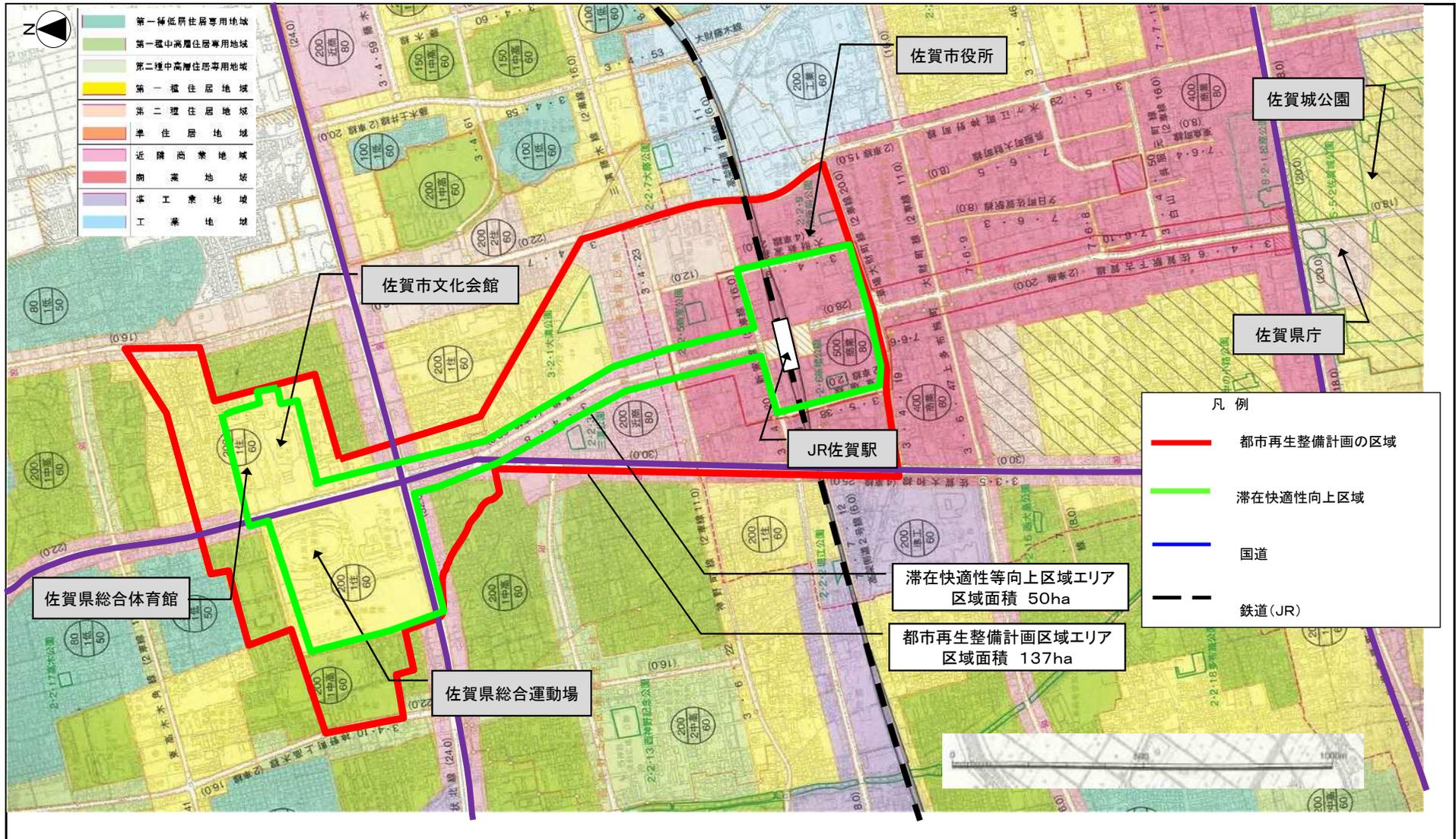
佐賀駅周辺北地区(佐賀県佐賀市)

面積

137(50) ha

区域

駅前中央1・2丁目、栄町、神野東1・2・3・4丁目、日の出2丁目、高木瀬団地の全部と八丁畷、若宮1・3丁目、日の出1丁目、若楠1丁目の一部



佐賀駅周辺北地区(佐賀県佐賀市) 整備方針概要図(まちなかウォーカブル推進事業)

目標	佐賀駅周辺と「スポーツ・文化拠点」の交流・連携を強化し、賑わいのある街づくりを推進する。	代表的な指標	佐賀駅乗車人数 (人/日)	12,341 (H28年度) →	12,400 (R5年度)
			佐賀駅前広場のイベント数 (回/年)	0 (H29年度) →	17 (R5年度)
			市文化会館・アリーナ利用者数(人/年)	377,389 (H27年度) →	588,000 (R5年度)

